

〜レースレポート GR86/BRZ Cup〜 第5大会 富士


GR86/BRZ Cup


「雨の岡崎」を体現し決勝で 8 台抜き

2026/9/6(日)

富士スピードウェイ

(静岡県小山町)

■ 大会概要

日程: 2026/9/6(日)

場所: 富士スピードウェイ(静岡県小山町)

1 周 4,563km, 10 周

決勝: 雨/ウェット

■ 予選結果

クラブマンシリーズ: 18 位

岡崎善衛選手

■ 決勝結果

クラブマンシリーズ: 10 位

岡崎善衛選手

クラブマンシリーズ

5	62	松原 亮二	ネット群馬ジースパイスGR86	ZN8	10	28'15.249	96.253	6.344	3.197	2'19
6	139	Jordan Johan	TGR INDONESIA GR86	ZN8	10	28'20.940	95.931	12.035	5.691	2'19
7	37	三村 壮太郎	HC GALLERY with TOM'S KART Club GR86	ZN8	10	28'21.867	95.879	12.962	0.927	2'19
8	3	大木 隼人	FATOMS GR86	ZN8	10	28'22.282	95.856	13.377	0.415	2'20
9	310	岡田 友輔	CSIRacing GR86	ZN8	10	28'23.871	95.766	14.966	1.589	2'19
10	393	岡崎 善衛	GLW Racing 2nd GR86	ZN8	10	28'26.793	95.602	17.888	2.922	2'1
11	23	YOSHIKI	N-SPEED GR86	ZN8	10	28'28.556	95.504	19.651	1.763	2'19
12	710	須藤 叶多	Starfield GR86	ZN8	10	28'28.560	95.504	19.655	0.004	2'20

ダイジェスト

今シーズン GLW Racing Team は創業 5 年目にして初めて GR86/BRZ Cup に参戦。

GLW の GR 車両開発部マネージャー兼エースドライバーの岡崎善衛(393 号車)がクラブマンシリーズに挑む。初のシングルフィニッシュを果たした前回大会に続き、出走台数が多い天王山とも言われる本戦で良い結果を残し、弾みをつけたい週末だ。

【練習走行(ドライ・水曜)】

この日は晴れて路面温度も上がり、残暑を感じる陽気となった。

1本目は事前練習のパターン、2本目は秘策セットに変更。

1本目でベストタイムの2:05:7秒台を記録した。秘策のセットアップにしてからは後半にガクッとタイムを落とす形となった。GT3やインタープロト、VITAのスリック勢による路面変化が大きく、路面温度も上がっていた。

路面変化のせいなのか、セットアップが原因なのかは究明出来ていない。謎を残したまま翌日以降の走行に臨むこととなった。



セットアップを確認する岡崎選手と
メカニックの田川

【スポーツ走行(ドライ・木曜)】

天気は曇天で26℃前後。路面はドライ。走行日和。

最初の走行はユーズドでアタック開始。2:06:0秒台と周囲のライバル車と比較してもまずまずのスタート。ただセッション中に様々なセッティング変更を試してみたところ、微妙なフィーリングが続く。セッティングを決めきるのはまだ先になりそうだ。

2本目、3本目は一部区間にのみ小雨が落ちる天候であったが路面は概ねドライ。リアのセッティングを一部変更して走ったが、良い数字は得られなかった。

Mitchell選手(338号車)とJordan選手(139号車)に走行についてのヒントをもらいに行ったが、彼らと同じようなタイムは出ず、明日以降にセッティングを決める想定で2日目を終えた。

【占有走行(ハーフウェット・金曜)】

朝から曇天で終始パラパラと小雨が降る天候。本戦は出走台数が多いため同じクラブマンクラスでもA組とB組に分かれて戦うことに。

本日の占有走行で各車ニュータイヤを投入することが分かり、実質上の予選となりそうだ。

A組の占有走行では路面はドライであったが、B組の番になる頃にはコース全体的に雨が落ち始め、ハーフウェットの路面となった。

試行錯誤する中で一つのセッティングがハマリ、一時はB組内3位のタイムを叩き出す。

ベンチマーク先のMitchel選手を一時上回ることができ、良い感触を持って占有を終えた。

総合順位(位→90位)						KYOJO3 / IPS 2 / FCR 4	GR86/BRZ CUP CLUBMAN 専有走行 B組										LOCAL TIME 11:04:55	
STATUS	Pos	CLASS	C.P.	No	NAME	CAR	BEST LAP	LAP	GAP	INT	KM/H	S1	S2	S3	GAP/SET	LAST LAP	2ND	BEST
	1	216	ISHIKAWA		HMR/RACING 外資店 GR86		2:10.610	4/4			182.741	32.151	40.131	56.880	-16.169	2:10.610	2:11.140	
ハ	2	335	岡崎 寛		HALAL OBC BRZ		2:10.695	8/8	0.085	0.085	180.000	32.434	40.943	57.318	+0.085	2:10.695	2:11.666	
ハ	3	393	岡崎 寛		GLW Racing 2nd GR86		2:10.840	9/9	0.230	0.145	180.905	32.399	41.014	57.134	+0.233	2:10.840	2:11.481	
ハ	4	38	松田 大輔		SDG KTR BRZ		2:11.610	7/8	1.000	0.770	95.322	32.781	41.475	1:07.668	+11.314	2:21.924	2:12.461	
ハ	5	870	伊藤 和広		MITCHELL ROBOT BRZ		2:11.762	8/8	1.152	0.152	180.301	32.991	41.064	57.707	+1.152	2:11.762	2:12.500	
ハ	6	183	占田 健		CYBER RACING 183/GR86		2:11.857	10/10	1.247	0.095	181.519	32.753	41.178	57.925	+1.247	2:11.857	2:12.000	
ハ	7	703	池田 貴弘		池田 貴弘 GR86		2:12.077	6/7	1.467	0.220	181.208	32.924	41.651	1:04.896	+3.851	2:19.471	2:12.881	
ハ	8	55	古賀 三		JAPEX RACING GR86		2:12.084	9/9	1.474	0.007	180.905	32.808	41.327	58.151	+0.176	2:12.084	2:12.721	
ハ	9	36	長 祐海		HCRACING ML WM GR86		2:12.263	6/8	1.653	0.179	181.208	32.151	40.982	57.427	+0.597	2:15.404	2:12.981	
ハ	10	338	Mitchell, Chae		GR Garage Balakong GR86		2:12.413	3/7	1.803	0.150	180.301	32.211	40.131	58.560	+1.388	2:25.781	2:12.661	
ハ	11	71	松田 大輔		GRU RACING 71 GR86		2:12.548	8/8	1.938	0.135	180.905	33.244	41.651	57.653	+1.653	2:12.548	2:14.111	
ハ	12	22	村上 太樹		71 RACING 22 BRZ		2:12.865	8/9	2.255	0.317	182.432	32.694	41.547	58.943	+0.511	2:19.144	2:16.261	
ハ	13	3	大木 孝人		FATONS GR86		2:12.993	5/7	2.383	0.128	102.857	351.812	46.215	1:07.765	+3.242	2:24.350	2:13.721	
ハ	14	515	豊田 一		71 RACING 515 GR86		2:13.485	7/8	2.876	0.492	99.356	32.614	41.781	1:07.282	+11.367	2:21.977	2:13.751	

占有走行で一時B組3位のタイムを出した際のモニター映像

【予選(ハーフウェットのちドライ・土曜)】

夜から明け方にかけて雨が降り注いだが朝は曇りまで回復。その後は断続的に小粒の雨が振る程度であった。

チームはウェットでもドライでも対応できるよう万全の準備をして出番を待つ。

まずはA組の ATTACK が開始。コースではレコードラインのみが乾いている状況だ。

半数は予選開始とともにコースイン、ATTACK を開始する。

早々に Jordan 選手が 2:05:479 を記録しトップに立つ。

残り半分は路面が少しでも乾くのを待ってからコースインするようだ。ランキング上位者達は予選終了間際にコースインし、ワンアタックに賭ける。

結果ランキングトップの渡部選手(456 号車)が 2:04:804 を記録し A 組トップとなった。



(左) 刻一刻とコンディションを変化させドライバーを悩ませるサーキット

予選前に自信を覗かせる岡崎選手(右)

我々の B 組がその後に ATTACK。A 組の結果からトラックエボリューションが大きいことを期待し、ほとんどの車両が予選終了 5 分前程度でコースインする模様。

ポツポツと小雨が降ってきたこともあり、岡崎は予選終了 6 分ほど前からコースイン。

ランキング 3 位の松原選手(62 号車)が先に 2:04:873 を記録。

この数字をベンチマークとし、岡崎が ATTACK を開始。記録は 2:05:072。B 組 2 位を記録する。

しかし走路外走行の可能性があり、そのまま 2 アタック目に突入。

さすがにタイヤの垂れが大きく、セーフティーに行き過ぎたこともあり結局 2:05:704 で B 組 9 位に沈んだ。

その結果翌日の決勝グリッドが 18 位からのスタートとなることが決定した。

ただし同様にタイム抹消を受けるドライバーが続出する中、時間的マージンを残してコースインし、気持ちを切り替えて 2 アタック目に入ったことはポジティブな材料と言える。

それにより予選落ちを免れ、決勝で巻き返すチャンスを残すことができた。



(左) 果敢に 2 アタック目に入る岡崎選手

予選出走前に岡崎選手と足回りの確認をする佐々木監督(右)



【決勝(ウェット・日曜)】

決勝当日は朝から雨。

足元が悪い中、岡崎の応援に全国各地からレースチーム以外からも多くの社員が駆けつけた。



全国から岡崎選手の応援に駆け付ける GLW 社員達

路面は水の膜が張るほどではないもののウェットコンディションが確定。

出走 45 台と今シーズン最多の台数の中、中段 18 番グリッドからスタートする岡崎。

全体がクリーンなスタートの中、岡崎も良い蹴りだしを見せ早々に一台をパス。

中段の混戦に巻き込まれそうになるが、何とかポジションをキープ。

一台がヘアピン手前でコースアウトしている間にポジションアップし 16 位を奪取。

すぐさまダンロップで 1 台をパスし 15 位に浮上。

1 周目終盤に差し掛かったところで SC が導入される。

6 周目からレース再開。13 コーナー手前でインを奪取しスムーズに 1 台をパス、14 番手。続く 7 周目では 100R でロックオン。岡崎にしか見えないラインを通りヘアピン手前でオーバーテイク。立ち上がりで一時抜き返されるが、11 コーナーで再び抜き返し 13 番手。また 13 コーナーで前の車両が膨らんだところを見逃さず、すかさず 12 番手に上がる。ホームストレートでも上手く



スタートの混戦をクリーンに決める岡崎選手



決勝でごぼう抜きを決める岡崎選手

ブロックして次のターゲットへ。再び次の 13 コーナーで前に並び、ストレートでサイドバイサイド。見事 1 コーナーを制しオーバーテイク完了、11 番手に出る。ファイナルラップのストレートでは冷房を切ったことにより、一時フロントガラスが曇る緊急事態。すぐに解消はしたが 2 秒ほどのロスになってしまった。結果 11 位でフィニッシュしたが 1 台がペナルティーを受け繰り上がりで 10 位。18 位スタートから見事ポイントを獲得した。

「雨の岡崎」の異名を体現するかのような見事なオーバーテイクショーを見せた。

次戦の鈴鹿でもきっちりポイントを持ち帰りたいところだ。

また本週末では黒岩唯一選手が出演するテレビ愛知の黒ちゃんねるに取材をしていただいた。

岡崎、代表の大野、監督の佐々木だけでなく、当日応援に集まった社員にもみっちり話を聞いていただき、会社の雰囲気を感じてもらえた週末であった。
オンエアを楽しみにしたい。

【ドライバーコメント】

岡崎善衛選手：水曜日の一発目を以前の事前練習と同じセットで臨みました。その後セッティングを大きく変える試みをしてみましたが、それがハマらず模索する2日間でした。
ただこれまでのラウンドとは違い、このセットでは車の挙動がこうなる、というのがある程度分かってきたので、この5戦目にして大分進歩したなという実感があります。

金曜日の占有では2日間トライしたセットに見切りをつけ、今までのセットに寄せみたところ、良いタイムを出すことができました。

予選も調子良く走れましたが、四脱を起こしてしまいました。2アタック目も気持ちを切り替えて走りましたが、望むようなタイムではありませんでした。

ただこの中段に沈んだことにより、決勝では細かいことを気にせずに関き直ってガンガン行こう、というリラックスした心情になりました。

いきなりの雨でフルウェットの難しいコンディションでしたが、上手くコントロールできて結果ポイント獲得まで漕ぎ着けることができました。

SCでレースが短くなったのは残念でしたが、最終的には良い週末でした。

各地からレースチーム以外の社員も駆けつけてくれ、その声援が励みになりました。



黒岩唯一選手とタレントの ENA さんと並ぶ
岡崎選手と佐々木監督



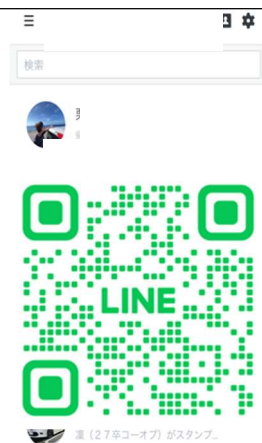
(左)富士で GLW で岡崎善衛の名を轟かせる 393 号車

岡崎選手のバースデーを祝う GLW 社員達(右)

各種 SNS やってます！

公式 LINE

候補者との主要連絡手段



YouTube

日本語 8 割・英語 1 割・ベトナム語 1 割



X

主にレースについて発信



Linkedin

海外向け情報発信・採用



Instagram

リール投稿してます！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において自動車専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業5年目の若い会社ですが、社員数は既に130人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が7割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

GLW Racing Team は社員チームに拘り、モータースポーツと設計の良いフィードバックループを生み出し、もっと良いクルマづくりに貢献します。今シーズンはGR86/BRZ Cup、TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge に参戦します。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 人材開発室 室長 杉浦 真吾

TEL: [045-900-8393](tel:045-900-8393) E-mail: newg-recruit@glw.co.jp

